

令和7年度

# 2 学年学習シラバス



成田市立玉造中学校

国語科学習内容		学年	2 年
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字や語句、文法などの知識・技能を理解し、説明的文章、文学的文章などの文章や小説、詩などの読み方、理解の仕方を知る。</li> <li>・ 目的や場面に応じて話す能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身につけ、考えを深めようとする態度を身につける。</li> <li>・ 目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書く能力を身につける。</li> <li>・ 文章や詩などの作品作りを通して、自分の気持ちや考えを表現する力を養う。</li> </ul>	
教科・副教材など		教科書：「伝え合う言葉 中学国語 2」教育出版 副教材：「国語の学習 2」明治図書、学習漢字ノート 2 浜島書店	
定期テスト・課題など		定期テスト（4 回）、漢字小テスト（20 回） 副教材「国語の学習 2」、学習漢字ノート 2、スパッと攻略！国語文法（4 回）の提出	
成績評価の方法		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の 3 観点を定期テスト・漢字小テスト・朝学習・授業・提出物などで評価する。	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	「虹の足」、「タオル」	
	5 月	活用のない自立語、まちがえやすい漢字	
	6 月	「日本の花火の楽しみ」、「水の山 富士山」、敬語	
	7 月	社会で求められる表現、「夢を跳ぶ」、話し言葉と書き言葉、漢字の成り立ち	
	9 月	漢字の成り立ち、「紙の建築」、活用のある自立語	
後期	10 月	「敦盛の最期」、「随筆の味わい」、「二千五百年前からのメッセージ」、「坊ちゃん」	
	11 月	「短歌の味わい」、「夏の葬列」、漢字の多義性	
	12 月	「ガイアの知性」	
	1 月	「学ぶ力」、付属語のいろいろ	
	2 月	「豚」、「走れメロス」	
	3 月	類義語・対義語・多義語・同音語、同音の漢字	

数学科学習内容		学年	2 年
学習の到達目標		<p>④ 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>⑤ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。</p> <p>⑥ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につける。</p>	
教科・副教材など		教科書：未来へひろがる数学 2 啓林館 副教材：OKRA 数学 2 正進社	
定期テスト・課題など		定期テスト(4 回)、単元テスト(7 回)、実力テスト(2 回) OKRA 数学 2、タブドリ Live など	
成績評価の方法		<p>&lt;知識・技能&gt;            定期テスト・単元テスト・授業・朝学習・提出物を総合的に評価</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;            定期テスト・単元テスト・授業・提出物を総合的に評価</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;            定期テスト・単元テスト・授業・朝学習・提出物を総合的に評価</p>	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	1 章「1 節 式の計算」	
	5 月	1 章「1 節 式の計算」／1 章「2 節 文字式の利用」	
	6 月	1 章「2 節 文字式の利用」／2 章「1 節 連立方程式」	
	7 月	2 章「1 節 連立方程式」／2 章「2 節 連立方程式の利用」	
	9 月	3 章「1 節 一次関数とグラフ」／3 章「2 節 一次関数と方程式」	
後期	10 月	3 章「3 節 一次関数の利用」／4 章「1 節 平行と合同」	
	11 月	4 章「2 節 図形の性質の利用」／4 章「3 節 証明」	
	12 月	5 章「1 節 三角形」／5 章「2 節 四角形」	
	1 月	5 章「2 節 四角形」／5 章「3 節 図形の性質と証明の利用」	
	2 月	5 章「3 節 図形の性質と証明の利用」／6 章「1 節 場合の数と確率」	
	3 月	6 章「2 節 確率の利用」・7 章「1 節 箱ひげ図」	

英語科学習内容		学年	2 年
学習の到達目標 (Can-Do リスト)		<聞くこと> ・はっきり話してもらえば、短いスピーチや説明のあらましや大事な部分を理解することができる。 <読むこと> ・ポスターや説明文などの文章を読んで、書き手の意向（伝えたいこと）を理解することができる。 <話すこと〔やりとり〕> ・相手の理解を確認しながら、工夫して言いたいことを伝えることができる。 <話すこと〔発表〕> ・身近なものや人物について、その特徴などを即興で相手に説明することができる。 <書くこと> ・自分の経験や感想を読み手にわかりやすく書くことができる。	
教科・副教材など		教科書：ONE WORLD English Course 2 教育出版、ジョイフルワーク 2	
定期テスト・課題など		定期テスト（4回）、小テスト、実力テスト（2回）、ダブドリ、ワーク	
成績評価の方法		<知識・技能> 定期テスト・小テスト・授業・朝学習・提出物を総合的に評価 <思考・判断・表現> 定期テスト・小テスト・Speaking Test・授業・提出物を総合的に評価 <主体的に学習に取り組む態度> 定期テスト・小テスト・授業・朝学習・提出物を総合的に評価	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	Review Lesson 「Ms. King's Trip with Her Friend」	
	5 月	Lesson1 「Assistance Dogs」, 2 「Energy Sources for Our Future」	
	6 月	Lesson3 「Design Makes Changes」, Project1 「Ideas for Change」	
	7 月	Lesson4 「Workplace Experience」, Speaking Test	
	9 月	Lesson5 「How to Celebrate Halloween」	
後期	10 月	Lesson6 「Castles and Canyons」	
	11 月	Lesson7 「The Gift of Giving」	
	12 月	Project2 「My Dream Travel」	
	1 月	Lesson8 「Rakugo in English」	
	2 月	Lesson9 「Gestures and Sign Language」 Project3 「Let's Introduce Japanese Culture」	
	3 月	Reading 「How William Hoy Changed Baseball」	

社会科学学習内容		学年	2 年
学習の到達目標		地理：地形の名称を覚える。 その地域的特色や地域の課題について、考えることができる。 歴史：文化や文明の発展について理解する。 事象について、多面的・多角的に思考することができる。	
教科・副教材など		教科書：「新しい社会 地理」「新しい社会 歴史」 東京書籍	
定期テスト・課題など		定期テスト（４回）、実力テスト（２回） e ライブラリによる学習	
成績評価の方法		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の ３観点を定期テスト・単元テスト・朝学習・授業・提出物で評価する。	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	４ 月	地理：日本の地域的特色、九州地方	
	５ 月	地理：九州地方 歴史：江戸幕府の成立と対外政策	
	６ 月	地理：中国・四国地方 歴史：江戸幕府の成立と対外政策	
	７ 月	地理：近畿地方	
	９ 月	歴史：産業の発達と幕府政治の動き	
後期	10 月	歴史：欧米の進出と日本の開国	
	11 月	地理：中部地方、関東地方	
	12 月	地理：東北地方、	
	１ 月	地理：北海道地方 歴史：明治維新	
	２ 月	歴史：日清・日露戦争	
	３ 月	歴史：近代産業	

理科学習内容		学年	2 年
学習の到達目標		<p>自然・科学の現象を日常生活や社会と関連付けながら、その規則性やその現象について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けることができる。</p> <p>観察や実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、その特徴や規則性を見いだして表現することができる。</p> <p>自然・科学の現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、自然・科学を総合的に見ることができる。</p>	
教科・副教材など		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の世界（大日本図書）・理科便覧（浜島書店）</li> <li>・よくわかる理科の学習（明治図書）</li> </ul>	
定期テスト・課題など		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト（全 4 回） ・実力テスト（全 2 回）</li> <li>・e-ライブラリ、よくわかる理科の学習（定期テスト前に提出 全 4 回）</li> </ul>	
成績評価の方法		<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ライブラリ（朝学習）の取り組み、および小テスト</li> <li>・定期テスト ・実験レポート</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト ・実験レポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト ・実験レポート</li> <li>・授業中の発表 ・提出物（ノート）・振り返りシート（google フォーム）</li> </ul>	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	熱による分解、電気による分解、物質をつくっているもの	
	5 月	化学反応式、酸素と結びつく化学変化ー酸化 酸素を失う化学変化ー還元	
	6 月	硫黄と結びつく化学変化、熱を発生する化学変化、熱を吸収する化学変化 質量保存の法則	
	7 月	反応する物質の質量の割合、生物の体をつくっているもの	
	9 月	細胞と生物の体、葉のはたらき、葉のつくり	
後期	10 月	茎・根のつくりとはたらき、葉・茎・根のつながり、消化と吸収、呼吸	
	11 月	血液とその循環、動物の行動のしくみ、生物の体のつくりとはたらき 回路と電圧・電流、回路の抵抗	
	12 月	電流とそのエネルギー、電流がつくる磁界、電流が磁界から受ける力	
	1 月	電磁誘導と発電、静電気と力、静電気と放電、電流と電子 放射線とその利用	
	2 月	気象観測、気圧と風	
	3 月	天気の変化、日本の気象	

音楽科学習内容		学年	2 年
学習の到達目標		歌唱や器楽の演奏による「表現」、映像や音声を視聴する「鑑賞」、リズムや旋律の「創作」をバランスよく学習し、音楽を様々な角度から楽しむ力を育む。	
教科・副教材など		音楽のおくりもの（中学音楽 23 上・中学器楽）コーラスフェスティバル	
定期テスト・課題など		授業内確認テスト・実技テスト・タブレットによる提出物	
成績評価の方法		<知識・技能> 歌唱や器楽の基本的な演奏方法の習得（実技テスト） <思考・判断・表現> 基本的演奏技能を元にした表現の工夫（実技テスト）や、楽曲鑑賞における考察と文章表現（提出物） 創作課題（提出物） <主体的に学習に取り組む態度> 自ら積極的に発声したり声を掛け合ったりして、クラス全体に良い影響を与えられるような前向きな姿勢が見られ、粘り強い努力と調整によって技能や思考力を獲得できているか。	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	自己紹介 発声練習 学年合唱曲	
	5 月	「ボレロ」鑑賞 「バレエ」表現	
	6 月	合唱コンクール全校合唱曲 課題曲	
	7 月	合唱コンクール自由曲	
	9 月		
後期	10 月	「交響曲第 5 番」鑑賞	
	11 月	タブレットを使った旋律とリズムの創作 ギターコード 箏	
	12 月		
	1 月	卒業関連の合唱曲	
	2 月	雅楽「越天楽」鑑賞	
	3 月		

美術科学習内容		学年	2 学年
学習の到達目標		① 版の種類による表現の違いや技法の効果を理解し、彫りや刷りを工夫して表すことができる。身近な風景を見つめることから主題を考えて構想を練るとともに、風景画のよさや美しさを味わうことができる。 ② 伝えたい内容や目的に合ったデザインを考えるとともに、そのよさや美しさを味わうことができる。自分の作品について、表現したことをわかりやすく文章で表すことができる。 ③ 使う場所や用途から発想し、光の美しさを生かした作品を構想するとともに、そのよさや美しさを味わうことができる。材料や用具、光の生かし方などを身につけ、意図に応じて創意工夫し、制作の順序などを総合的に考え、見通しをもって表している。	
教科・副教材など		美術 2・3、スケッチブック、アクリル絵の具、版画セット ランプシェードセット	
定期テスト・課題など		定期テストなし／反省カード・作品制作・アイディアスケッチ 鑑賞カード・忘れ物チェック	
成績評価の方法		＜知識・技能＞ ・基本的な知識・技能の習得（道具の使い方・技法の使い方・作品採点） ＜思考・判断・表現＞ ・知識・技能に基づいた発想力、構想力、構成力、表現力の習得（アイディアスケッチ・作品採点） ・見通しを持って表現する能力の習得（反省カード） ＜主体的に学習に取り組む態度＞ ・主体的に授業に取り組む姿勢（忘れ物チェック、2 分前着席、提出物） ・独自のアイディアを持ち、毎時間の制作を反省し、表現を伝える能力の習得（作品採点、反省カード、鑑賞カード）	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	私が見つめた風景（版画）	
	5 月		
	6 月		
	7 月	鑑賞会	
	9 月	伝えるデザイン～学校ピクトグラム～（デザイン）	
後期	10 月		
	11 月	鑑賞会	
	12 月	明かりと光～紙の表現～（立体）	
	1 月		
	2 月		
	3 月	鑑賞会	



保健体育科学習内容		学年	2 年
学習の到達目標		<体育> ・技能習得ポイントを理解し、練習に取り組みながら基本的技能を身に付けることができる。 <保健> ・健康な生活と病気の予防、傷害の防止について学び、学んだことを実生活に生かすことができる。	
教科・副教材など		中学校保健体育（大日本図書）保健学習ノート（正進社） 図解体育（大修館書店）	
定期テスト・課題など		第2回定期テスト 第4回定期テスト 技能テスト（各種目ごと適宜）	
		<知識・技能> ・授業内でのスキル（技能テスト含む） ・筆記テスト（保健） ・個人の記録やゲームでの活躍 <思考・判断・表現> ・学習カードへの記載内容（振り返り） ・技能習得段階（練習）への取組 ・授業内での仲間へのアドバイスの内容 <主体的に学習に取り組む態度> ・授業に取り組む姿勢 ・欠席、見学 ・集団的種目への仲間意識 ・課題解決への取り組み	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	集団行動 新体力テスト	
	5 月	陸上競技：ハードル走 器械運動：跳び箱運動 体育祭練習	
	6 月	陸上競技：ハードル走 器械運動：跳び箱運動 水泳	
	7 月	水泳	
	9 月	武道：剣道 球技：バレーボール	
	保健	運動やスポーツの意義や効果と学び方や行い方 健康な生活と疾病の予防	
後期	10 月	球技：バレーボール サッカー	
	11 月	球技：サッカー 武道：剣道	
	12 月	陸上競技：長距離走	
	1 月	球技：バスケットボール ソフトボール	
	2 月	球技：バスケットボール ダンス：創作ダンス	
	3 月	球技ソフトボール ダンス：創作ダンス	
	保健	健康な生活と病気の予防 傷害の防止	

技術・家庭科学習内容		学年	2 年
学習の到達目標		<p>技術分野：身のまわりにある生物育成やエネルギー変換の技術を利用した製品を調べる活動を通して、栽培やエネルギーについて理解し、生活における課題を生物育成やエネルギー変換の技術を用いて解決することができる。</p> <p>家庭分野：中学生に必要な栄養を満たす食事について基礎的な理解をすることができる。 食生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できる。</p>	
教科・副教材など		<p>教科書：技術・家庭 技術分野（開隆堂）および 家庭分野（開隆堂） 副教材：バガスグリーン、調理実習など</p>	
定期テスト・課題など		実習の振り返り	
成績評価の方法		<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の取り組み、パフォーマンステスト、製作品</li> <li>・定期テスト、小テスト ・実習のレポート</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作品 ・実習のレポート</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の振り返りシート ・実習のまとめ</li> </ul>	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	技 B 生物育成の技術 作物の栽培	
	5 月	技 B 生物育成の技術 栽培計画と課題解決	
	6 月	技 B 生物育成の技術 栽培実習のまとめ	
	7 月	技 C エネルギー変換の技術 電気機器の保守点検と製作	
	9 月	技 C エネルギー変換の技術 エネルギー変換の利用	
後期	10 月	家 B 食生活と自立 中学生の食生活と栄養	
	11 月	家 B 食生活と自立 献立と食品の選び方	
	12 月	家 B 食生活と自立 日常食の調理	
	1 月	家 B 食生活と自立 日常食の調理と地域の食文化	
	2 月	家 A 家族・家庭と子どもの成長 幼児とのかかわり	
	3 月	家 B 食生活と自立 日常食の調理	